

～本格的な出水期に備え防災体制を確認～

5月15日 洪水対応演習を実施しました。

国土交通省東北地方整備局では、毎年、本格的な出水期を前に大規模な出水・堤防決壊等の重大災害を想定した「洪水対応演習」を実施しています。岩手河川国道事務所においても5月15日（金）に実施しました。

この「演習」は、地域の防災活動の適切な判断・行動につなげるよう洪水時の河川・ダム水位、流量などの情報を関係機関に迅速かつ的確に伝達し、洪水時の防災体制に万全を期するために実施しているものです。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため勤務体制を縮小中ですが、本格的な出水期に備えた防災対策の確認として、演習を実施しました。

■演習対象

北上川上流域（岩手県内）

■実施内容

- ①洪水予報・水防警報指定河川の水位等情報伝達演習
- ②整備局と事務所間の被災状況等の情報伝達演習
- ③河川巡視点検及び報告などの演習・訓練
- ④県、市町村等の関係機関との情報提供・共有演習
- ⑤堤防決壊等被災箇所の緊急復旧計画、工法の検討

●当日は、東北地方整備局、東北管内12河川担当事務所、3ダム統合管理事務所、7ダム管理所、3ダム工事事務所、東北6県、関係市町村、各地方（管区）气象台などの関係機関が参加して行っていました。

など



■岩手河川国道事務所



災害対策室の様子

■岩手河川国道事務所 一関出張所



水位確認の様子

編集後記

先週、沖縄地方では梅雨入りしたと聞きました。皆さんも、本格的な出水期に向けて非常時の持ち出し品の確認や避難ルートの確認を行ってはいかがでしょうか。（よ）